



病理診断科のトピックス

臨床病理科部長：中野 龍治

九州厚生年金病院の病理診断科において、現在約6,000件以上の組織診断、及び同程度の細胞診断、病理解剖20体ほどを行っています。診断には標準の染色に加えて、免疫組織科学的検査、分子病理学的検査を加え、診断の質の向上に努めています。また、臨床各科とのディスカッションを積極的に行い、臨床医の望む病理診断をすることを目指しています。その一つとして、外科手術症例に関しては可能な限りマッピングを行うようにしています。

近年の分子標的治療の発達により、病理診断や、免疫染色の結果が治療の必要条件になっているものも増加してきたことから、診断の精度向上・精度管理には特に力を注いでします。現在外注のHER2のin situ hybridizaionも当院で行えるように準備しているところです。

臨床各科の学会発表や研究会に必要な病理関係の写真に関しては、病理医が責任を持って提供しています。また、院内の各カンファレンスでも病理解説が必要な場合は病理医が解説を担当しています。

病理診断科が直接連携病院に関わっているものはありませんが、何か必要なものがあれば、直接でも、臨床医を通じても結構ですのでご連絡下さい。

臨床病理科部長：中野 龍治

